

大阪市の推計人口年報（令和4年）

～令和4年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

令和4年11月

大阪市計画調整局

目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	行 政 区 別 人 口	2
5	行 政 区 別 世 帯 数	5
6	人 口 異 動	7
7	年 齢 別 人 口	12

《利用上の注意》

・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は令和2年国勢調査結果による推計人口である。

・人口異動について

推計人口においては出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の行政区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。

1 人口総数

令和4年10月1日の大阪市の人口は275万6,807人で、前年（令和3年10月1日）と比べると5,972人（0.2%）の増加となった。

表1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成24年	2,674,154	5,182	0.2
25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
27年	2,691,185	11,377	0.4
28年	2,702,316	11,131	0.4
29年	2,713,725	11,409	0.4
30年	2,725,855	12,130	0.4
令和元年	2,741,336	15,481	0.6
2年	2,752,412	11,076	0.4
3年	2,750,835	△ 1,577	△ 0.1
4年	2,756,807	5,972	0.2

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 男女別人口

令和4年の人口を男女別にみると、男性が132万6742人、女性が143万65人となっている。

男女別の人口を令和3年と比べると、男性が2276人（0.2%）増、女性が3696人（0.3%）増であった。人口性比（女性100人に対する男性の数）は92.8となっている。

表2 男女別人口の推移

年次	男（人）		女（人）		性比
		増減数（人）		増減数（人）	
平成24年	1,296,740	1,989	1,377,414	3,193	94.1
25年	1,297,931	1,191	1,380,732	3,318	94.0
26年	1,297,452	△ 479	1,382,356	1,624	93.9
27年	1,302,562	5,110	1,388,623	6,267	93.8
28年	1,307,086	4,524	1,395,230	6,607	93.7
29年	1,311,137	4,051	1,402,588	7,358	93.5
30年	1,315,517	4,380	1,410,338	7,750	93.3
令和元年	1,321,926	6,409	1,419,410	9,072	93.1
2年	1,326,875	4,949	1,425,537	6,127	93.1
3年	1,324,466	△ 2,409	1,426,369	832	92.9
4年	1,326,742	2,276	1,430,065	3,696	92.8

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

3 世帯数

令和4年の世帯数は150万6249世帯であり、令和3年と比べると、2万2836世帯（1.5%）の増加となっている。

1世帯当たり人員は減少傾向にあり、令和3年の1.85人からさらに減少し、令和4年では1.83人となった。

表3 世帯数の推移

年次	世帯数			1世帯当たり 人員（人）
	（世帯）	増減数（世帯）	増減率（%）	
平成24年	1,332,002	7,262	0.5	2.01
25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99
27年	1,354,793	9,738	0.7	1.99
28年	1,375,843	21,050	1.6	1.96
29年	1,397,243	21,400	1.6	1.94
30年	1,419,499	22,256	1.6	1.92
令和元年	1,446,298	26,799	1.9	1.90
2年	1,469,718	23,420	1.6	1.87
3年	1,483,413	13,695	0.9	1.85
4年	1,506,249	22,836	1.5	1.83

太字は国勢調査結果による世帯数。その他は各年10月1日現在の推計人口による世帯数。

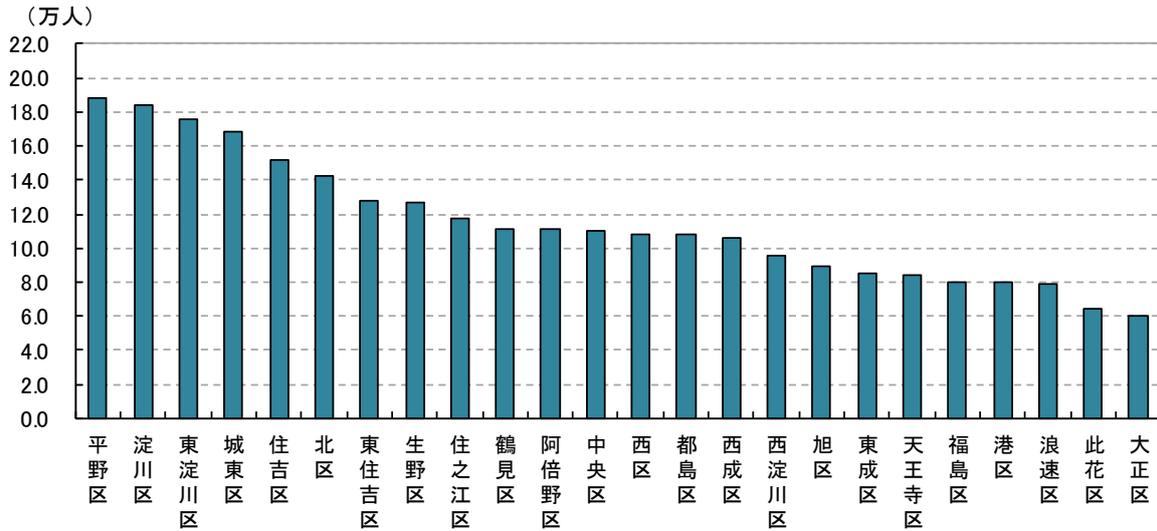
4 行政区別人口

令和4年の人口を行政区別にみると、平野区が18万8208人と最も多く、次いで淀川区が18万4414人、東淀川区が17万5806人と続いている。

この1年間の人口増減数を行政区別にみると、増加数は中央区が3267人と最も多く、次いで浪速区が2250人、北区が2032人など、引き続き市域中心部が増加している。減少数は平野区が1958人と最も多く、次いで住之江区が1137人、大正区が1011人と続いている。

人口増減率をみると、増加率は中央区が3.1%と最も高く、次いで浪速区が2.9%、天王寺区が1.5%など、人口増加数と同様に市域中心部で高くなっている。減少率は大正区が1.6%と最も高く、次いで平野区と住之江区が1.0%、港区が0.6%と続いている。

図1 行政区別の人口



令和4年10月1日現在推計人口による。

表4-1 行政区別の人口

行政区名	人口 (人)		対前年 (令和3年)	
	令和4年	令和3年	増減数 (人)	増減率 (%)
大阪市	2,756,807	2,750,835	5,972	0.2
北区	142,738	140,706	2,032	1.4
都島区	107,826	107,838	△ 12	△ 0.0
福島区	80,348	79,844	504	0.6
此花区	64,687	64,764	△ 77	△ 0.1
中央区	110,271	107,004	3,267	3.1
西区	108,402	106,917	1,485	1.4
港区	79,469	79,978	△ 509	△ 0.6
大正区	60,345	61,356	△ 1,011	△ 1.6
天王寺区	84,310	83,087	1,223	1.5
浪速区	79,113	76,863	2,250	2.9
西淀川区	95,436	95,572	△ 136	△ 0.1
淀川区	184,414	183,450	964	0.5
東淀川区	175,806	176,039	△ 233	△ 0.1
東成区	85,514	85,175	339	0.4
生野区	126,741	126,664	77	0.1
旭区	88,872	89,208	△ 336	△ 0.4
城東区	168,069	168,762	△ 693	△ 0.4
鶴見区	111,612	112,219	△ 607	△ 0.5
阿倍野区	111,563	111,296	267	0.2
住之江区	117,595	118,732	△ 1,137	△ 1.0
住吉区	152,080	152,472	△ 392	△ 0.3
東住吉区	127,384	127,277	107	0.1
平野区	188,208	190,166	△ 1,958	△ 1.0
西成区	106,004	105,446	558	0.5

各年10月1日現在推計人口。

表 4 - 2 人口増加数（上位 7 区）

順位	令和元年～2年		令和2年～3年		令和3年～4年	
	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）
1	中央区	3,129	中央区	3,278	中央区	3,267
2	北区	2,936	浪速区	1,359	浪速区	2,250
3	西区	2,288	北区	1,330	北区	2,032
4	福島区	1,840	西区	1,055	西区	1,485
5	淀川区	1,698	天王寺区	939	天王寺区	1,223
6	天王寺区	1,197	福島区	516	淀川区	964
7	東住吉区	965	阿倍野区	301	西成区	558

表 4 - 3 人口減少数（上位 7 区）

順位	令和元年～2年		令和2年～3年		令和3年～4年	
	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）
1	平野区	△ 1,638	平野区	△ 1,986	平野区	△ 1,958
2	西成区	△ 1,011	住之江区	△ 1,340	住之江区	△ 1,137
3	生野区	△ 979	東淀川区	△ 1,081	大正区	△ 1,011
4	住之江区	△ 922	港区	△ 970	城東区	△ 693
5	大正区	△ 706	大正区	△ 727	鶴見区	△ 607
6	住吉区	△ 410	西成区	△ 665	港区	△ 509
7	此花区	△ 281	生野区	△ 645	住吉区	△ 392

表 4 - 4 人口増加率（上位 7 区）

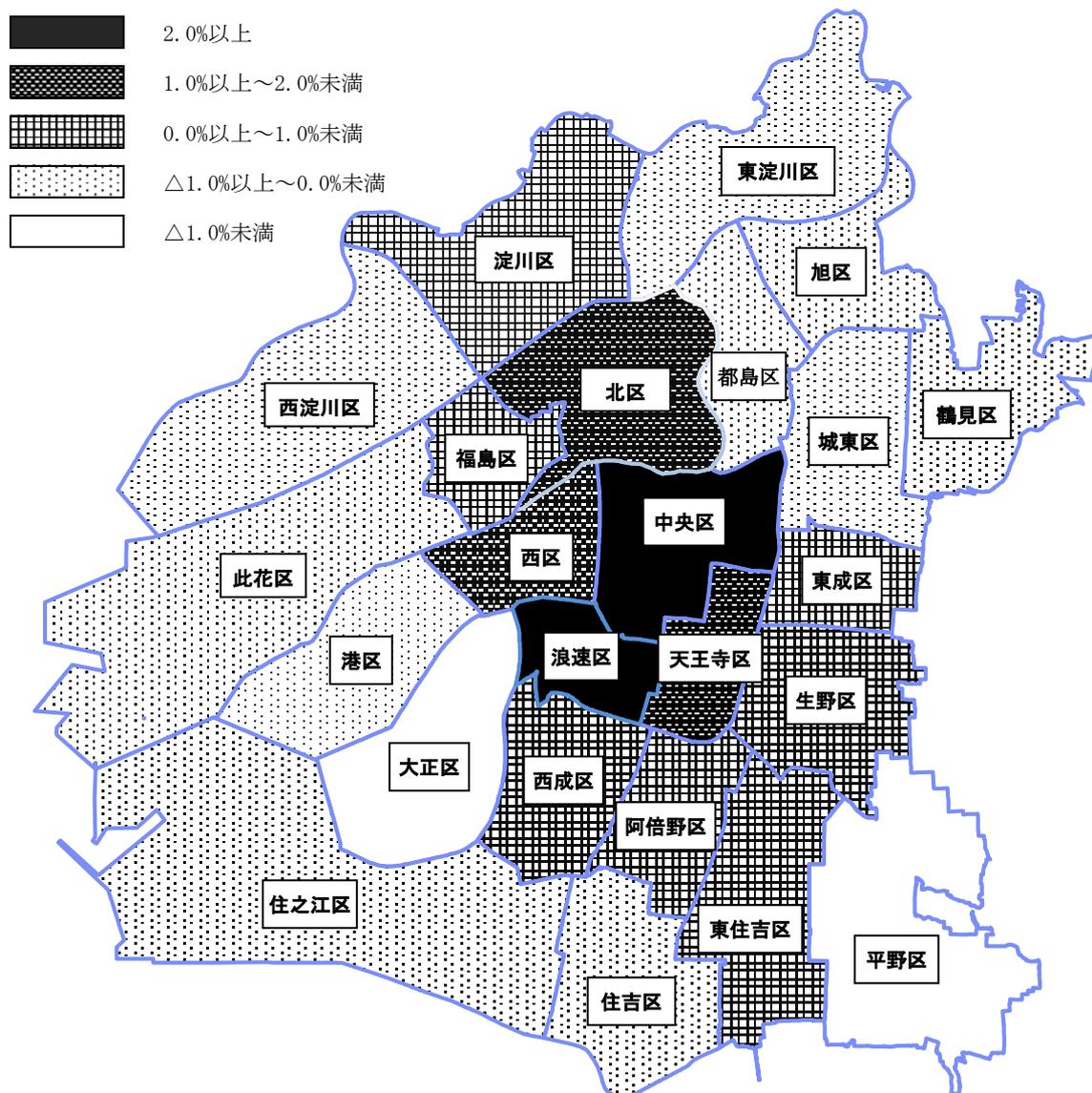
順位	令和元年～2年		令和2年～3年		令和3年～4年	
	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）
1	中央区	3.1	中央区	3.2	中央区	3.1
2	福島区	2.4	浪速区	1.8	浪速区	2.9
3	西区	2.2	天王寺区	1.1	天王寺区	1.5
4	北区	2.2	西区	1.0	北区	1.4
5	天王寺区	1.5	北区	1.0	西区	1.4
6	浪速区	1.2	福島区	0.7	福島区	0.6
7	淀川区	0.9	東成区	0.3	西成区	0.5

表 4 - 5 人口減少率（上位 7 区）

順位	令和元年～2年		令和2年～3年		令和3年～4年	
	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）
1	大正区	△ 1.1	港区	△ 1.2	大正区	△ 1.6
2	西成区	△ 0.9	大正区	△ 1.2	平野区	△ 1.0
3	平野区	△ 0.8	住之江区	△ 1.1	住之江区	△ 1.0
4	生野区	△ 0.8	平野区	△ 1.0	港区	△ 0.6
5	住之江区	△ 0.8	此花区	△ 0.7	鶴見区	△ 0.5
6	此花区	△ 0.4	西成区	△ 0.6	城東区	△ 0.4
7	旭区	△ 0.3	東淀川区	△ 0.6	旭区	△ 0.4

- 1 令和元年は令和2年国勢調査結果により修正された10月1日現在の推計人口。
- 2 令和2年は国勢調査による人口。
- 3 令和3年以降は10月1日現在の推計人口。

図2 行政区別人口増減率の分布（令和3年～令和4年）



5 行政区別世帯数

令和4年の世帯数を行政区別にみると、淀川区が10万6754世帯と最も多く、次いで東淀川区が10万916世帯、平野区が9万3540世帯と続いている。世帯数が最も少ない行政区は大正区の2万9807世帯で、次いで此花区が3万2699世帯、港区が4万2888世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を行政区別にみると、中央区が2788世帯と最も多く、次いで浪速区が2385世帯、西区が1969世帯と続いており、全24区のうち23区で増加となっている。

世帯数の増減率では、浪速区が4.3%と最も高く、次いで中央区が4.0%、西区が3.0%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.26人と最も多く、次いで阿倍野区が2.04人、大正区及び東住吉区が2.02人と続いている。一方、1世帯当たり人員が最も少ない行政区は浪速区の1.38人であり、次いで中央区が1.52人、西成区が1.57人と続いている。

表5-1 行政区別世帯数

行政区	世帯数（世帯）		対前年（令和3年）		1世帯当たり 人員（人）
	令和4年	令和3年	増減数（世帯）	増減率（%）	令和4年
大阪市	1,506,249	1,483,413	22,836	1.5	1.83
北区	88,689	87,002	1,687	1.9	1.61
都島区	58,135	57,504	631	1.1	1.85
福島区	43,957	43,242	715	1.7	1.83
此花区	32,699	32,302	397	1.2	1.98
中央区	72,517	69,729	2,788	4.0	1.52
西区	67,188	65,219	1,969	3.0	1.61
港区	42,888	42,525	363	0.9	1.85
大正区	29,807	29,904	△ 97	△ 0.3	2.02
天王寺区	43,959	42,966	993	2.3	1.92
浪速区	57,277	54,892	2,385	4.3	1.38
西淀川区	47,610	46,756	854	1.8	2.00
淀川区	106,754	104,978	1,776	1.7	1.73
東淀川区	100,916	99,974	942	0.9	1.74
東成区	47,220	46,261	959	2.1	1.81
生野区	69,352	68,138	1,214	1.8	1.83
旭区	45,617	45,412	205	0.5	1.95
城東区	83,697	83,182	515	0.6	2.01
鶴見区	49,480	49,187	293	0.6	2.26
阿倍野区	54,703	54,053	650	1.2	2.04
住之江区	60,105	59,903	202	0.3	1.96
住吉区	79,359	78,554	805	1.0	1.92
東住吉区	63,209	62,351	858	1.4	2.02
平野区	93,540	92,962	578	0.6	2.01
西成区	67,571	66,417	1,154	1.7	1.57

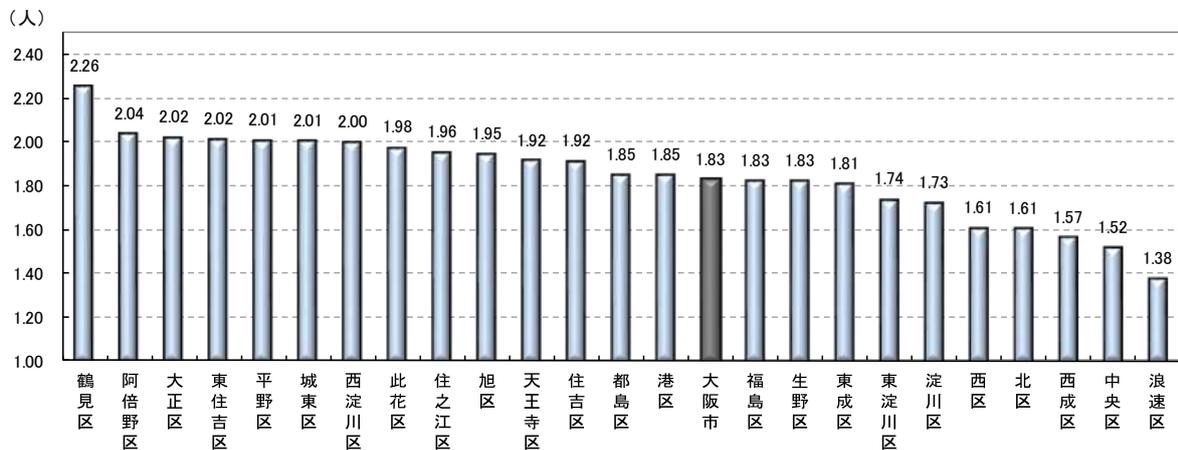
各年10月1日現在推計人口。

表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）				1世帯当たり世帯人員（人）			
上位5区		下位5区		上位5区		下位5区	
淀川区	106,754	大正区	29,807	鶴見区	2.26	浪速区	1.38
東淀川区	100,916	此花区	32,699	阿倍野区	2.04	中央区	1.52
平野区	93,540	港区	42,888	大正区	2.02	西成区	1.57
北区	88,689	福島区	43,957	東住吉区	2.02	北区	1.61
城東区	83,697	天王寺区	43,959	平野区	2.01	西区	1.61

令和4年10月1日現在推計人口による。

図3 行政区別1世帯当たり世帯人員



令和4年10月1日現在推計人口による。

6 人口異動（前年10月中から当年9月中の合計）

(1) 自然動態

令和4年の自然動態（出生と死亡の差）は1万5290人の減少となり、令和3年の自然動態（1万2186人減）と比べると、減少幅は3104人拡大した。また、自然増減率は5.6%減となっている。

自然増減数を行政区別にみると、増加数は中央区が249人と最も多く、次いで北区が147人、西区が126人など4区で増加となっている。減少数は西成区が2680人と最も多く、次いで平野区が1647人、生野区が1326人と続いている。

自然増減率を行政区別にみると、増加率は中央区が2.3%と最も高く、次いで西区が1.2%、北区が1.0%と続いている。減少率は西成区が25.4%と最も高く、次いで大正区が10.6%、生野区が10.5%と続いている。

ア 出生

令和4年の出生数は1万9328人で、令和3年（2万363人）と比べると1035人の減少となり、出生率は7.0%（前年7.4%）となっている。

出生数を行政区別にみると、淀川区が1377人と最も多く、次いで城東区が1256人、北区が1252人と続いている。出生数が最も少ない行政区は大正区の337人となっている。

出生率では、中央区及び福島区が9.4%と最も高く、次いで北区が8.9%、天王寺区が8.3%と続いている。最も低い行政区は西成区の3.8%となっている。

イ 死亡

令和4年の死亡数は3万4618人で、令和3年（3万2549人）と比べると2069人の増加となり、死亡率は12.6%となっている。

死亡数を行政区別にみると、西成区が3080人と最も多く、次いで平野区が2846人、生野区が2156人と続いている。死亡数が最も少ない行政区は福島区の693人となっている。

死亡率では、西成区が29.2%と最も高く、次いで生野区が17.0%、東住吉区が16.5%と続いている。最も低い行政区は西区の7.0%となっている。

ウ 外国人の自然動態

令和4年の自然動態のうち、外国人は412人の減少となり、令和3年の自然動態（147人減）と比べると、減少幅は265人拡大した。

外国人の出生数は760人で、令和3年（869人）と比べると109人の減少となっており、死亡数は1172人で、令和3年（1016人）と比べると156人の増加となっている。

表 6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1
令和元年	△ 8,853	△ 573	△ 3.2	21,315	△ 590	7.8	30,168	△ 17	11.1
2年	△ 9,414	△ 561	△ 3.4	21,003	△ 312	7.7	30,417	249	11.1
3年	△ 12,186	△ 2,772	△ 4.4	20,363	△ 640	7.4	32,549	2,132	11.8
4年	△ 15,290	△ 3,104	△ 5.6	19,328	△ 1,035	7.0	34,618	2,069	12.6

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。
- 3 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表 6-2 行政区別自然動態表

行政区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大 阪 市	△ 15,290	△ 5.6	19,328	7.0	34,618	12.6
北 区	147	1.0	1,252	8.9	1,105	7.9
都 島 区	△ 383	△ 3.6	733	6.8	1,116	10.3
福 島 区	56	0.7	749	9.4	693	8.7
此 花 区	△ 459	△ 7.1	409	6.3	868	13.4
中 央 区	249	2.3	1,004	9.4	755	7.1
西 区	126	1.2	872	8.2	746	7.0
港 区	△ 573	△ 7.2	481	6.0	1,054	13.2
大 正 区	△ 652	△ 10.6	337	5.5	989	16.1
天 王 寺 区	△ 6	△ 0.1	689	8.3	695	8.4
浪 速 区	△ 180	△ 2.3	530	6.9	710	9.2
西 淀 川 区	△ 650	△ 6.8	592	6.2	1,242	13.0
淀 川 区	△ 419	△ 2.3	1,377	7.5	1,796	9.8
東 淀 川 区	△ 1,024	△ 5.8	1,129	6.4	2,153	12.2
東 成 区	△ 459	△ 5.4	612	7.2	1,071	12.6
生 野 区	△ 1,326	△ 10.5	830	6.6	2,156	17.0
旭 区	△ 651	△ 7.3	592	6.6	1,243	13.9
城 東 区	△ 732	△ 4.3	1,256	7.4	1,988	11.8
鶴 見 区	△ 270	△ 2.4	896	8.0	1,166	10.4
阿 倍 野 区	△ 453	△ 4.1	795	7.1	1,248	11.2
住 之 江 区	△ 1,106	△ 9.3	587	4.9	1,693	14.3
住 吉 区	△ 1,062	△ 7.0	1,039	6.8	2,101	13.8
東 住 吉 区	△ 1,136	△ 8.9	968	7.6	2,104	16.5
平 野 区	△ 1,647	△ 8.7	1,199	6.3	2,846	15.0
西 成 区	△ 2,680	△ 25.4	400	3.8	3,080	29.2

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	行政区名	(%)	行政区名	(%)	行政区名	(%)
1	中央区	2.3	中央区	9.4	西成区	29.2
2	西区	1.2	福島区	9.4	生野区	17.0
3	北区	1.0	北区	8.9	東住吉区	16.5
4	福島区	0.7	天王寺区	8.3	大正区	16.1
5	天王寺区	△ 0.1	西区	8.2	平野区	15.0
6	淀川区	△ 2.3	鶴見区	8.0	住之江区	14.3
7	浪速区	△ 2.3	東住吉区	7.6	旭区	13.9

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減		出生		死亡	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成24年	△ 327	175	537	41	864	△ 134
25年	△ 415	△ 88	531	△ 6	946	82
26年	△ 366	49	574	43	940	△ 6
27年	△ 437	△ 71	539	△ 35	976	36
28年	△ 298	139	604	65	902	△ 74
29年	△ 279	19	644	40	923	21
30年	△ 353	△ 74	649	5	1002	79
令和元年	△ 241	112	738	89	979	△ 23
2年	△ 194	47	792	54	986	7
3年	△ 147	47	869	77	1016	30
4年	△ 412	△ 265	760	△ 109	1172	156

自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

（2）社会動態

令和4年の社会動態（転入と転出の差）は2万1262人の増加となった。また、社会増減率は7.7‰となっている。

社会増減数を行政区別にみると、増加数は西成区が3238人と最も多く、次いで中央区が3018人、浪速区が2430人など20区で増加となっている。減少数は大正区が359人と最も多く、次いで鶴見区が337人、平野区が311人と続いている。

社会増減率をみると、増加率は浪速区が31.6‰と最も高く、次いで西成区が30.7‰、中央区が28.2‰など、市域中心部で高くなっている。減少率は大正区が5.9‰で最も高く、次いで鶴見区が3.0‰、平野区が1.6‰と続いている。

ア 転入

令和4年の転入数は21万1952人で、転入率は77.1‰となっている。

転入数を行政区別にみると、中央区が1万6825人と最も多く、次いで淀川区が1万5424人、北区が1万5246人と続いている。転入数が最も少ない行政区は大正区の2584人となっている。

転入率では、浪速区が169.6‰と最も高く、次いで中央区が157.2‰、西区が113.5‰と続いている。転入率が最も低い行政区は大正区の42.1‰となっている。

イ 転出

令和4年の転出数は18万9050人で、転出率は68.7%となっている。

転出数を行政区別にみると、淀川区が1万3986人と最も多く、次いで中央区が1万3734人、北区が1万3298人と続く。転出数が最も少ない行政区は大正区の2895人となっている。

転出率では、浪速区が137.0%と最も高く、次いで中央区が128.4%、西区が100.6%と続いている。転出率が最も低い行政区は大正区の47.2%となっている。

ウ その他増減

令和4年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、1640人減となった。

エ 外国人の社会動態

令和4年の社会動態のうち、外国人は1万913人の増加となった。

外国人の転入及び入国数は4万2510人となっており、転出及び出国数は2万9249人で、令和3年と比べると、転入及び入国は増加し、転出及び出国は減少した。

表6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.8	164,376	△ 2,286	61.6	…	…
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1	…	…
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4	…	…
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3	…	…
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	…
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118
令和元年	24,049	3,920	8.8	211,083	12,080	77.4	184,095	8,438	67.5	△ 2,939	278
2年	20,207	△ 3,842	7.4	206,128	△ 4,955	75.2	183,567	△ 528	67.0	△ 2,354	585
3年	10,609	△ 9,598	3.9	199,117	△ 7,011	72.3	186,443	2,876	67.7	△ 2,065	289
4年	21,262	10,653	7.7	211,952	12,835	77.1	189,050	2,607	68.7	△ 1,640	425

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 行政区別社会動態

行政区名	社会 増減数 (人)	社会 増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他 増減数 (人)
大 阪 市	21,262	7.7	211,952	77.1	189,050	68.7	△ 1,640
北 区	1,885	13.4	15,246	108.4	13,298	94.5	△ 63
都 島 区	371	3.4	7,437	69.0	7,038	65.3	△ 28
福 島 区	448	5.6	6,885	86.2	6,408	80.3	△ 29
此 花 区	382	5.9	3,759	58.0	3,307	51.1	△ 70
中 央 区	3,018	28.2	16,825	157.2	13,734	128.4	△ 73
西 区	1,359	12.7	12,133	113.5	10,757	100.6	△ 17
港 区	64	0.8	4,788	59.9	4,671	58.4	△ 53
大 正 区	△ 359	△ 5.9	2,584	42.1	2,895	47.2	△ 48
天 王 寺 区	1,229	14.8	7,261	87.4	6,015	72.4	△ 17
浪 速 区	2,430	31.6	13,033	169.6	10,533	137.0	△ 70
西 淀 川 区	514	5.4	6,279	65.7	5,661	59.2	△ 104
淀 川 区	1,383	7.5	15,424	84.1	13,986	76.2	△ 55
東 淀 川 区	791	4.5	12,538	71.2	11,576	65.8	△ 171
東 成 区	798	9.4	7,528	88.4	6,699	78.6	△ 31
生 野 区	1,403	11.1	10,116	79.9	8,564	67.6	△ 149
旭 区	315	3.5	5,203	58.3	4,863	54.5	△ 25
城 東 区	39	0.2	9,629	57.1	9,577	56.7	△ 13
鶴 見 区	△ 337	△ 3.0	5,202	46.4	5,550	49.5	11
阿 倍 野 区	720	6.5	7,562	67.9	6,812	61.2	△ 30
住 之 江 区	△ 31	△ 0.3	5,594	47.1	5,621	47.3	△ 4
住 吉 区	670	4.4	8,731	57.3	8,035	52.7	△ 26
東 住 吉 区	1,243	9.8	8,290	65.1	6,983	54.9	△ 64
平 野 区	△ 311	△ 1.6	9,189	48.3	9,480	49.9	△ 20
西 成 区	3,238	30.7	10,716	101.6	6,987	66.3	△ 491

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率(上位7区)

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	行政区名	(%)	行政区名	(%)	行政区名	(%)
1	浪速区	31.6	浪速区	169.6	浪速区	137.0
2	西成区	30.7	中央区	157.2	中央区	128.4
3	中央区	28.2	西区	113.5	西区	100.6
4	天王寺区	14.8	北区	108.4	北区	94.5
5	北区	13.4	西成区	101.6	福島区	80.3
6	西区	12.7	東成区	88.4	東成区	78.6
7	生野区	11.1	天王寺区	87.4	淀川区	76.2

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-8 社会動態の推移(外国人)

年次	社会増減		転入+入国		転出+出国		その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成24年	2,313	1,310	20,793	△ 412	18,480	△ 1,722	…	…
25年	2,617	304	20,889	96	18,272	△ 208	…	…
26年	861	△ 1,756	22,206	1,317	21,345	3,073	…	…
27年	6,438	5,577	25,517	3,311	19,079	△ 2,266	…	…
28年	5,095	△ 1,343	30,001	4,484	20,931	1,852	△ 3,975	…
29年	5,947	852	33,701	3,700	23,516	2,585	△ 4,238	△ 263
30年	6,485	538	37,208	3,507	27,150	3,634	△ 3,573	665
令和元年	7,611	1,126	42,917	5,709	31,803	4,653	△ 3,503	70
2年	△ 1,631	△ 9,242	32,848	△ 10,069	31,087	△ 716	△ 3,392	111
3年	△ 1,311	320	31,953	△ 895	30,185	△ 902	△ 3,079	313
4年	10,913	12,224	42,510	10,557	29,249	△ 936	△ 2,348	731

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

7 年齢別人口

(1) 年齢(3区分)別人口

令和4年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.3%、15～64歳人口(生産年齢人口)は64.2%、65歳以上人口(老年人口)は25.4%となっており、15～64歳人口の割合が、令和3年(63.9%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別推計人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成29年	2,713,725	294,372	1,728,917	690,436	344,371	100.0	10.8	63.7	25.4	12.7
30年	2,725,855	293,281	1,736,951	695,623	354,860	100.0	10.8	63.7	25.5	13.1
令和元年	2,741,336	292,460	1,746,987	701,889	365,870	100.0	10.7	63.7	25.6	13.3
2年	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489	376,454	100.0	10.6	63.7	25.7	13.7
3年	2,750,835	288,166	1,757,615	705,054	380,889	100.0	10.5	63.9	25.6	13.8
4年	2,756,807	284,599	1,771,078	701,130	389,729	100.0	10.3	64.2	25.4	14.1

1 平成29年から令和元年は、年齢「不詳」を各歳に案分した平成27年国勢調査結果をもとに作成した各年10月1日の推計人口。

2 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。

3 令和3年以降は2をもとに作成した10月1日現在推計人口。

(2) 行政区別の年齢(3区分)別人口

行政区別の年齢(3区分)別人口を令和3年と比べると、年少人口が最も増加したのは北区の337人で、最も減少したのは平野区の696人となった。生産年齢人口が最も増加したのは、中央区の2898人で、最も減少したのは住之江区の762人であった。老年人口が最も増加したのは、中央区の169人で、最も減少したのは西成区の952人であった。

表7-2 行政区別の年齢(3区分)別人口

行政区名	令和4年				令和3年からの増減数			令和3年			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大阪市	2,756,807	284,599	1,771,078	701,130	△ 3,567	13,463	△ 3,924	2,750,835	288,166	1,757,615	705,054
北区	142,738	13,509	103,597	25,633	337	1,547	149	140,706	13,172	102,050	25,484
都島区	107,826	11,452	69,608	26,767	△ 195	169	15	107,838	11,647	69,439	26,752
福島区	80,348	9,612	55,614	15,122	△ 83	610	△ 22	79,844	9,695	55,004	15,144
此花区	64,687	7,130	39,443	18,114	△ 77	160	△ 160	64,764	7,207	39,283	18,274
中央区	110,271	10,213	83,628	16,431	201	2,898	169	107,004	10,012	80,730	16,262
西区	108,402	11,931	80,088	16,382	△ 185	1,605	65	106,917	12,116	78,483	16,317
港区	79,469	7,774	49,574	22,121	△ 234	△ 51	△ 224	79,978	8,008	49,625	22,345
大正区	60,345	5,888	34,929	19,528	△ 195	△ 472	△ 344	61,356	6,083	35,401	19,872
天王寺区	84,310	11,346	56,497	16,467	159	912	152	83,087	11,187	55,585	16,315
浪速区	79,113	5,132	60,100	13,881	16	2,233	1	76,863	5,116	57,867	13,880
西淀川区	95,436	10,204	60,414	24,817	△ 364	382	△ 155	95,572	10,568	60,032	24,972
淀川区	184,414	17,546	125,237	41,631	△ 219	1,284	△ 101	183,450	17,765	123,953	41,732
東淀川区	175,806	15,980	115,763	44,063	△ 378	292	△ 146	176,039	16,358	115,471	44,209
東成区	85,514	8,365	55,751	21,398	△ 135	625	△ 151	85,175	8,500	55,126	21,549
生野区	126,741	11,012	75,993	39,736	△ 85	577	△ 415	126,664	11,097	75,416	40,151
旭区	88,872	9,230	52,993	26,649	△ 23	△ 146	△ 167	89,208	9,253	53,139	26,816
城東区	168,069	19,716	105,464	42,889	△ 407	63	△ 348	168,762	20,123	105,401	43,237
鶴見区	111,612	15,727	69,933	25,952	△ 432	△ 142	△ 33	112,219	16,159	70,075	25,985
阿倍野区	111,563	14,193	68,622	28,749	△ 6	286	△ 12	111,296	14,199	68,336	28,761
住之江区	117,595	11,806	68,226	37,562	△ 367	△ 762	△ 9	118,732	12,173	68,988	37,571
住吉区	152,080	16,158	92,321	43,601	△ 194	119	△ 316	152,472	16,352	92,202	43,917
東住吉区	127,384	14,108	75,976	37,300	63	369	△ 326	127,277	14,045	75,607	37,626
平野区	188,208	19,818	113,068	55,322	△ 696	△ 669	△ 592	190,166	20,514	113,737	55,914
西成区	106,004	6,751	58,238	41,015	△ 65	1,575	△ 952	105,446	6,816	56,663	41,967

年齢「不詳」を補完している国勢調査結果をもとに作成した10月1日現在推計人口。

行政区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が14.1%と最も高く、次いで天王寺区が13.5%、阿倍野区が12.7%と続く。最も低いのは西成区の6.4%となっている。

生産年齢人口では浪速区が76.0%と最も高く、次いで中央区が75.8%、西区が73.9%と続く。最も低いのは西成区の54.9%となっている。

老年人口では西成区が38.7%と最も高く、次いで大正区が32.4%、住之江区が31.9%と続く。最も低いのは中央区の14.9%となっている。

表7-3 行政区別の年齢（3区分）別人口割合

行政区名	令和4年 (%)			令和3年からの増減数 (ポイント)			令和3年 (%)				
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	令和3年からの増減数 (ポイント)			総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
					0~14歳	15~64歳	65歳以上				
大阪市	100.0	10.3	64.2	25.4	△ 0.2	0.3	△ 0.2	100.0	10.5	63.9	25.6
北区	100.0	9.5	72.6	18.0	0.1	0.1	△ 0.2	100.0	9.4	72.5	18.1
都島区	100.0	10.6	64.6	24.8	△ 0.2	0.2	0.0	100.0	10.8	64.4	24.8
福島区	100.0	12.0	69.2	18.8	△ 0.2	0.3	△ 0.1	100.0	12.1	68.9	19.0
此花区	100.0	11.0	61.0	28.0	△ 0.1	0.3	△ 0.2	100.0	11.1	60.7	28.2
中央区	100.0	9.3	75.8	14.9	△ 0.1	0.4	△ 0.3	100.0	9.4	75.4	15.2
西区	100.0	11.0	73.9	15.1	△ 0.3	0.5	△ 0.1	100.0	11.3	73.4	15.3
港区	100.0	9.8	62.4	27.8	△ 0.2	0.3	△ 0.1	100.0	10.0	62.0	27.9
大正区	100.0	9.8	57.9	32.4	△ 0.2	0.2	△ 0.0	100.0	9.9	57.7	32.4
天王寺区	100.0	13.5	67.0	19.5	△ 0.0	0.1	△ 0.1	100.0	13.5	66.9	19.6
浪速区	100.0	6.5	76.0	17.5	△ 0.2	0.7	△ 0.5	100.0	6.7	75.3	18.1
西淀川区	100.0	10.7	63.3	26.0	△ 0.4	0.5	△ 0.1	100.0	11.1	62.8	26.1
淀川区	100.0	9.5	67.9	22.6	△ 0.2	0.3	△ 0.2	100.0	9.7	67.6	22.7
東淀川区	100.0	9.1	65.8	25.1	△ 0.2	0.3	△ 0.0	100.0	9.3	65.6	25.1
東成区	100.0	9.8	65.2	25.0	△ 0.2	0.5	△ 0.3	100.0	10.0	64.7	25.3
生野区	100.0	8.7	60.0	31.4	△ 0.1	0.4	△ 0.3	100.0	8.8	59.5	31.7
旭区	100.0	10.4	59.6	30.0	0.0	0.1	△ 0.1	100.0	10.4	59.6	30.1
城東区	100.0	11.7	62.8	25.5	△ 0.2	0.3	△ 0.1	100.0	11.9	62.5	25.6
鶴見区	100.0	14.1	62.7	23.3	△ 0.3	0.2	0.1	100.0	14.4	62.4	23.2
阿倍野区	100.0	12.7	61.5	25.8	△ 0.0	0.1	△ 0.1	100.0	12.8	61.4	25.8
住之江区	100.0	10.0	58.0	31.9	△ 0.2	△ 0.1	0.3	100.0	10.3	58.1	31.6
住吉区	100.0	10.6	60.7	28.7	△ 0.1	0.2	△ 0.1	100.0	10.7	60.5	28.8
東住吉区	100.0	11.1	59.6	29.3	0.0	0.2	△ 0.3	100.0	11.0	59.4	29.6
平野区	100.0	10.5	60.1	29.4	△ 0.3	0.3	△ 0.0	100.0	10.8	59.8	29.4
西成区	100.0	6.4	54.9	38.7	△ 0.1	1.2	△ 1.1	100.0	6.5	53.7	39.8

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	行政区名	割合 (%)	行政区名	割合 (%)	行政区名	割合 (%)
1	鶴見区	14.1	浪速区	76.0	西成区	38.7
2	天王寺区	13.5	中央区	75.8	大正区	32.4
3	阿倍野区	12.7	西区	73.9	住之江区	31.9
4	福島区	12.0	北区	72.6	生野区	31.4
5	城東区	11.7	福島区	69.2	旭区	30.0
6	東住吉区	11.1	淀川区	67.9	平野区	29.4
7	此花区	11.0	天王寺区	67.0	東住吉区	29.3

令和4年10月1日現在の人口に対する割合である。

表7-5 年齢（3区分）別人口割合の変化（上位7区）

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	行政区名	変化 (ポイント)	行政区名	変化 (ポイント)	行政区名	変化 (ポイント)
1	北区	0.10	西成区	1.20	住之江区	0.30
2	東住吉区	0.04	浪速区	0.68	鶴見区	0.10
3	旭区	0.01	西淀川区	0.49	都島区	0.02
4	天王寺区	△ 0.01	西区	0.48	平野区	△ 0.01
5	阿倍野区	△ 0.04	東成区	0.47	大正区	△ 0.03
6	生野区	△ 0.07	生野区	0.42	東淀川区	△ 0.05
7	中央区	△ 0.09	中央区	0.39	阿倍野区	△ 0.07

令和3年10月1日現在の人口割合に対する令和4年10月1日現在における人口割合の変化である。

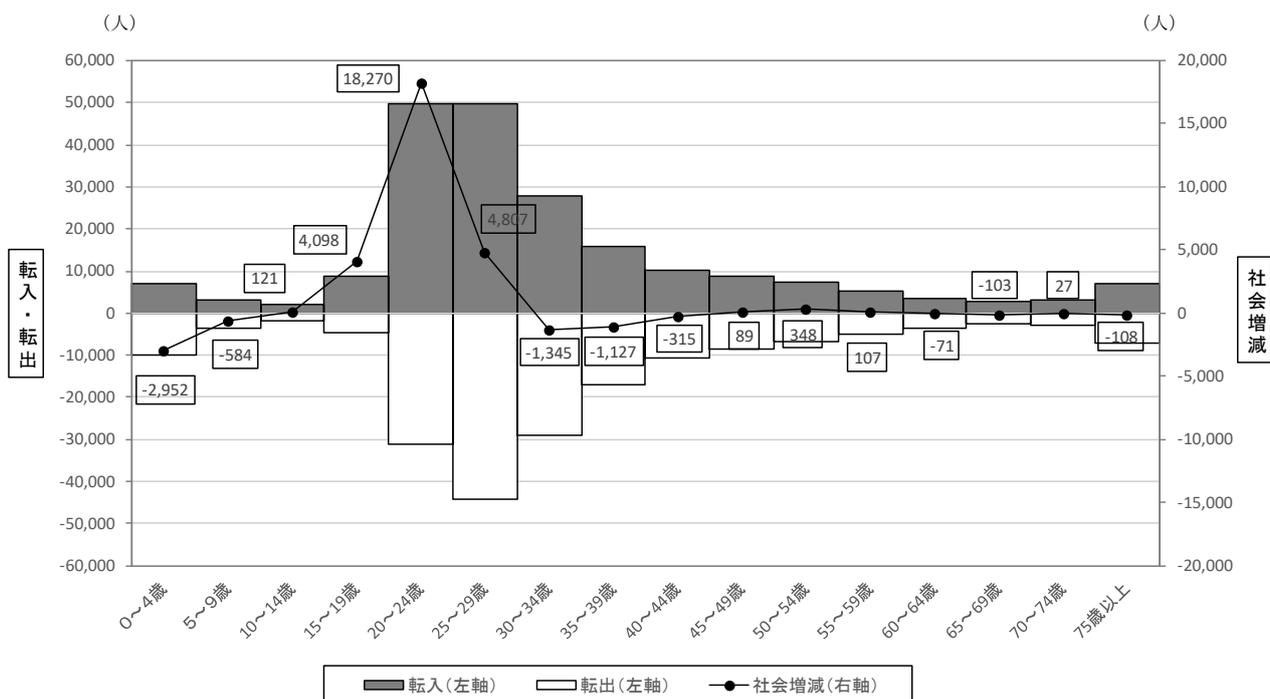
(3) 年齢(5歳階級)別社会動態

令和4年の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると、15歳から29歳までの各階級で大きな増加となっており、特に「20～24歳」では1万8270人増加した。これに対して、「30～39歳」及び「0～9歳」の各階級(世帯形成層・育児層及びその子どもの層)では減少している。

表7-6 年齢(5歳階級)別転入、転出、その他増減及び社会増減数

	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入	211,952	6,896	3,194	2,055	8,918	49,866	49,604	27,762	15,991
転出	189,050	9,799	3,742	1,916	4,827	31,183	44,377	28,893	17,060
その他増減	△ 1,640	△ 49	△ 36	△ 18	7	△ 413	△ 420	△ 214	△ 58
社会増減	21,262	△ 2,952	△ 584	121	4,098	18,270	4,807	△ 1,345	△ 1,127
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲)15～29歳
転入	10,249	8,621	7,334	5,178	3,614	2,673	2,949	7,048	108,388
転出	10,503	8,485	6,928	5,026	3,648	2,683	2,849	7,131	80,387
その他増減	△ 61	△ 47	△ 58	△ 45	△ 37	△ 93	△ 73	△ 25	△ 826
社会増減	△ 315	89	348	107	△ 71	△ 103	27	△ 108	27,175

図4 年齢(5歳階級)別社会動態



(4) 行政区別の年齢(5歳階級)別社会動態

行政区別の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると下表のとおりとなっている。世帯形成層・育児層の子ども層である「0～4歳」及び「5～9歳」の両階級が増加しているのは天王寺区、阿倍野区、東住吉区、西成区の4区となっている。

また、最も増加が多い年齢階級である「20～24歳」の行政区別の増加数は、浪速区が2103人と最も多く、次いで中央区が1994人、淀川区が1928人と続いている。

表7-7 行政区別の年齢(5歳階級)別社会増減数

行政区名	(人)								
	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	21,262	△ 2,952	△ 584	121	4,098	18,270	4,807	△ 1,345	△ 1,127
北区	1,885	△ 274	△ 16	36	287	1,457	591	△ 93	△ 140
都島区	371	△ 91	△ 14	△ 16	112	647	70	△ 1	△ 58
福島区	448	△ 228	△ 67	3	70	704	340	△ 76	△ 132
此花区	382	5	△ 7	10	145	211	15	45	△ 9
中央区	3,018	△ 287	△ 29	25	283	1,994	749	81	△ 25
西区	1,359	△ 333	△ 80	△ 22	198	1,826	561	△ 251	△ 176
港区	64	△ 86	△ 33	5	94	520	△ 46	△ 143	△ 39
大正区	△ 359	△ 14	△ 27	△ 9	15	46	△ 46	△ 51	△ 39
天王寺区	1,229	62	75	30	83	433	248	61	131
浪速区	2,430	△ 246	△ 39	20	412	2,103	596	△ 290	△ 152
西淀川区	514	△ 55	△ 54	△ 27	58	536	238	△ 20	△ 54
淀川区	1,383	△ 359	△ 69	△ 3	290	1,928	388	△ 206	△ 242
東淀川区	791	△ 299	△ 43	△ 1	401	1,229	△ 28	△ 291	△ 212
東成区	798	△ 158	△ 4	△ 5	169	801	165	△ 60	△ 34
生野区	1,403	△ 131	△ 9	17	452	976	2	△ 111	△ 48
旭区	315	20	△ 6	12	54	213	48	△ 39	9
城東区	39	△ 215	△ 33	△ 5	85	476	246	△ 203	△ 70
鶴見区	△ 337	△ 68	△ 69	△ 34	△ 46	△ 105	109	43	△ 38
阿倍野区	720	80	28	17	153	206	117	98	54
住之江区	△ 31	△ 18	△ 18	20	△ 8	27	△ 47	26	△ 26
住吉区	670	△ 114	△ 1	29	142	400	43	40	16
東住吉区	1,243	45	2	17	152	281	136	95	67
平野区	△ 311	△ 208	△ 93	△ 26	134	232	△ 74	△ 167	△ 89
西成区	3,238	20	22	28	363	1,129	386	168	179
行政区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲)15～29歳
大阪市	△ 315	89	348	107	△ 71	△ 103	27	△ 108	27,175
北区	△ 20	18	108	34	△ 7	6	△ 34	△ 68	2,335
都島区	△ 54	△ 43	△ 36	△ 18	14	△ 19	△ 26	△ 96	829
福島区	△ 68	△ 2	△ 14	△ 14	△ 24	△ 25	△ 7	△ 12	1,114
此花区	19	△ 17	19	8	2	△ 6	△ 9	△ 49	371
中央区	110	38	83	61	△ 9	15	△ 12	△ 59	3,026
西区	△ 110	△ 45	△ 49	△ 47	△ 29	△ 41	△ 28	△ 15	2,585
港区	△ 45	△ 23	△ 28	△ 8	0	△ 33	△ 19	△ 52	568
大正区	△ 34	△ 24	△ 18	△ 21	△ 12	△ 27	△ 36	△ 62	15
天王寺区	78	100	△ 1	△ 31	△ 10	△ 23	7	△ 14	764
浪速区	△ 57	7	28	37	△ 5	△ 2	△ 7	25	3,111
西淀川区	△ 13	△ 16	△ 7	△ 40	△ 14	12	2	△ 32	832
淀川区	△ 77	△ 10	25	23	△ 54	△ 61	△ 36	△ 154	2,606
東淀川区	△ 81	△ 27	△ 7	14	3	△ 4	1	136	1,602
東成区	△ 18	△ 22	18	△ 4	△ 32	△ 7	△ 13	2	1,135
生野区	13	31	39	△ 5	32	△ 5	16	134	1,430
旭区	△ 14	3	26	△ 15	△ 14	11	13	△ 6	315
城東区	△ 9	△ 17	3	△ 2	△ 34	△ 44	△ 49	△ 90	807
鶴見区	△ 36	△ 45	△ 42	△ 13	△ 5	△ 20	44	△ 12	△ 42
阿倍野区	47	△ 6	△ 2	△ 6	△ 7	△ 6	△ 6	△ 47	476
住之江区	△ 23	△ 15	15	△ 38	△ 18	3	10	79	△ 28
住吉区	60	54	△ 4	13	△ 8	△ 12	26	△ 14	585
東住吉区	40	53	50	43	22	31	53	156	569
平野区	△ 109	△ 62	3	45	2	32	39	30	292
西成区	86	159	139	91	136	122	98	112	1,878